

V. 特記事項

1. 産学連携，地域連携，大学間連携による実学教育

実学教育の一環として、民間企業と連携して、企業の第一線で活躍されている方を講師として実施する「企業連携講座」を学科単位で開設している。また、広域の大学間で連携し、高度人材育成教育プログラムを実施している。これらの講座により、大学での学びがどのように実社会で役立つのかを最先端の事例をもとに学ぶことができる。

工学部電気電子工学科においては、電気系の企業と連携し、「三菱電機講座」、「きんでん講座」、「日本電設工業講座」、「関西電力講座」を開講し、各分野の最先端技術を実学として学ぶ機会を設けている。さらに、(株)ダイセン電子工業と連携講座「ロボットを用いた計測・制御実習」を開講し、企業にて実習を行っている。また、特許事務所と連携し、工学部電子機械工学科とともに、「古谷国際特許事務所講座」を開講し、知的財産権について学ぶ機会を設けている。

工学部機械工学科においては、JFE スチール(株)、パナソニック(株)、いであ(株)、日立造船(株)、三菱電機(株)、トヨタ自動車(株)、ダイキン工業(株)、(株)前川製作所等の機械系企業等と連携して「機械工学連携講座」を開催し、第一線で活躍している講師による実学教育を行っている。さらに、(株)前川製作所と連携講座「産業用冷凍空調」を開講し、幅広い工学教育を提供している。

総合情報学部デジタルゲーム学科、ゲーム&メディア学科及び情報学科においては「知的財産権入門」の科目の中で、東京コンテンツプロデューサーズ・ラボ株式会社及び読売テレビ放送株式会社から外部講師を招聘し、産学連携による実学教育を行っている。

医療科学科では、広域大学連携による臨床医工学・情報学の人材育成を実施し、大阪大学医学部附属病院、国立循環器病センター研究所など最先端医療の見学と臨床医の説明会を実施して、令和元(2019)年度 12 人が修了している。

2. 最先端の設備による教育研究

3D 造形先端加工センター、エレクトロニクス基礎研究所、メカトロニクス基礎研究所、情報学研究所、JIAMS、衛星通信研究施設では、最先端の設備を導入し、その設備を活用した教育研究を推進している。

3D 造形先端加工センターでは、日本の大学では数台しか導入されていない金属材料で造形できる 3D プリンターをはじめ、樹脂材料で造形できる精度の高い 3D プリンター、5 軸マシニングセンタ、ワイヤ放電加工機を中心とした 3 次元造形のための先端加工の設備を整え、学部生、大学院生が新しいコンセプトやデザイン能力を発揮できるように支援している。

エレクトロニクス基礎研究所、メカトロニクス基礎研究所、情報学研究所、JIAMS、衛星通信研究施設では、教員の研究用途だけでなく、学部生、大学院生も教育研究用としても利用することができ、最先端の設備による教育研究体制が構築できている。